無線クライアントユーティリティ

詳細設定ガイド

Y613-12508-02 Rev.A

はじめに

このたびは、「CG-WLCB144GNL」または「CG-WLUSB2GNL」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせします。

http://corega.jp/

付属マニュアルのご紹介

本商品には、次のマニュアルが付属しています。各マニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

●安全にお使いいただくためにお読みください（付属：紙マニュアル）

安全にお使いいただくためのご注意を説明しています。本商品をお使いになる前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。

●らくらく導入ガイド（付属：紙マニュアル）※1

本商品の付属品、各部の名称と機能、専用ソフトウェアの読み込み手順について説明しています。本商品の導入時にご覧ください。

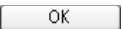
●Q&A（付属：冊子マニュアル）※1

本商品のトラブルシューティング、サポートに関する情報について説明しています。必要に応じてご覧ください。

●詳細設定ガイド（ユーティリティディスク収録：PDFマニュアル・本書）※2

本ソフトウェアを使用したセキュリティ設定など、本商品の詳細な機能説明や設定方法などを説明しています。

※1「CG-WLCB144GNL」または「CG-WLUSB2GNL」に付属しているマニュアルです。セット品（「CG-WLBARGNL-P」または「CG-WLBARGNL-U」）をお使いの場合は、「お使いの手引き」（付属：冊子マニュアル」をご覧ください。

※2 本ソフトウェアはWindows XP/2000のみに対応しています。Windows Vistaをお使いの場合は、「らくらく導入ガイド」をご覧になり、ドライバのみをインストールしてOSに標準搭載されているワイヤレス ネットワークをお使いください。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本ソフトウェア	付属ソフトウェア「無線 LAN ユーティリティ」を指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　]	[　　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は以下のとおりです。

〈Windows〉

Windows .... Microsoft® Windows® operating system

Windows Vista .... Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、Microsoft® Windows Vista™ Busines および Microsoft® Windows Vista™ Ultimate

Windows XP .... Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system

Windows 2000 .... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目　次

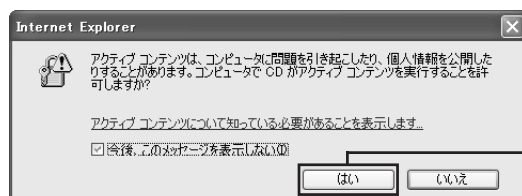
PART
1
無線ネットワークへの接続

インストール手順

本ソフトウェアをパソコンにインストールします。インストールを開始する前に以下の注意を必ずお読みください。

- 現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合はCD-ROMが起動しない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してからCD-ROMを起動してください。なお対策ソフトの停止方法については各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

1　ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

Windows XPでは次の画面が表示されます。その場合は、［はい］をクリックします。

2　次の画面が表示されます。［無線LANソフトウェアインストール］をクリックします。

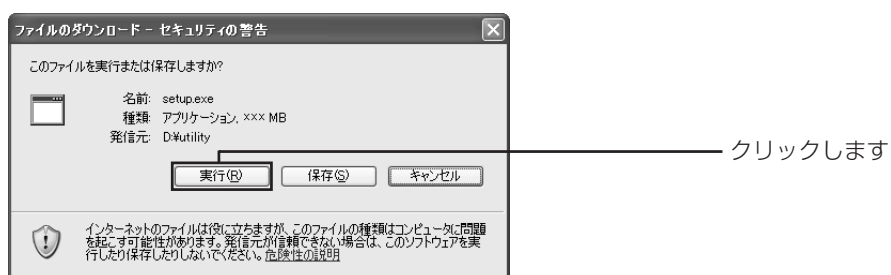
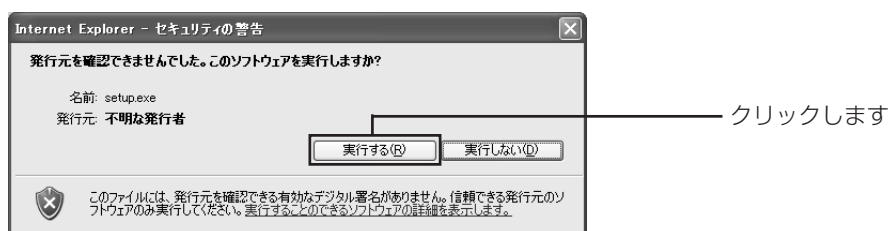
しばらく待っても上の画面が表示されない場合は、「マイ コンピュータ」をダブルクリックします。

3　次の画面が表示されます。もう一度［無線 LAN ソフトウェアインストール］をクリックします。

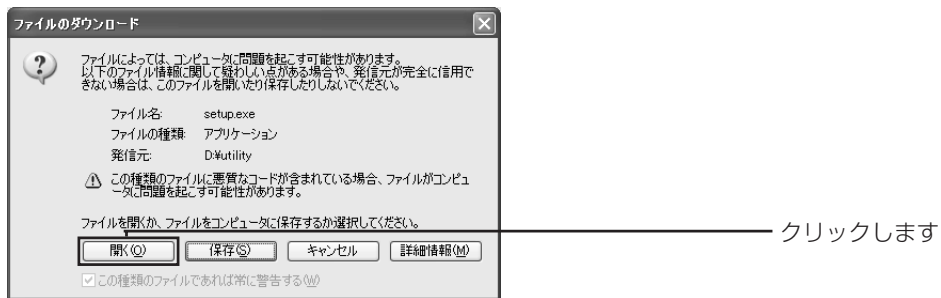
4　お使いの環境によって表示される画面が異なります。次の手順でインストールを進めます。

メモ　**表示される画面は Internet Explorer のバージョンによって異なります。**

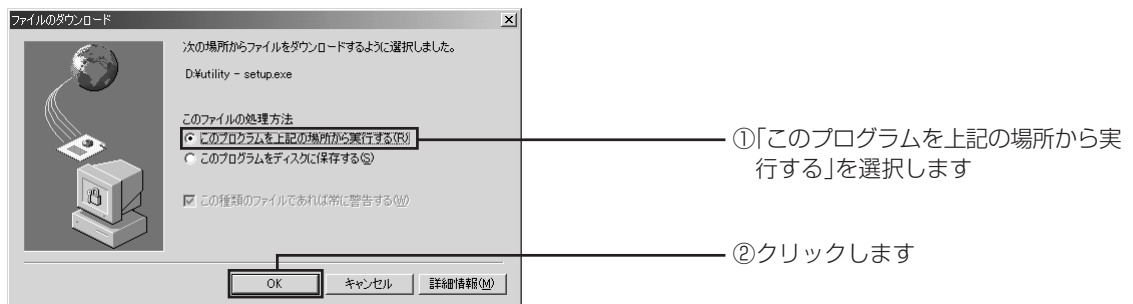
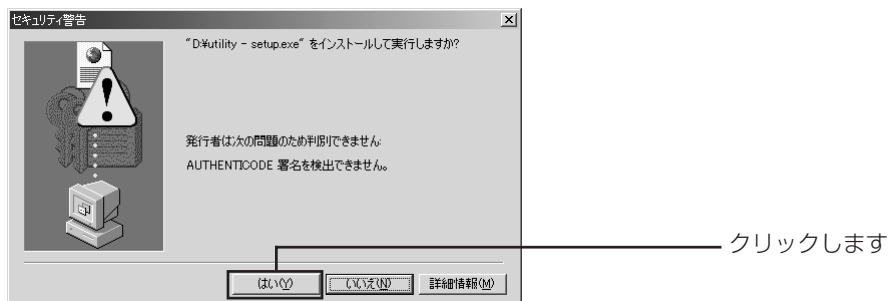
■ Windows XP SP2 の場合

①　［実行］をクリックします（弊社にて動作を確認しています）。

②　［実行する］をクリックします（弊社にて動作を確認しています）。

③手順５（次ページ）に進みます。

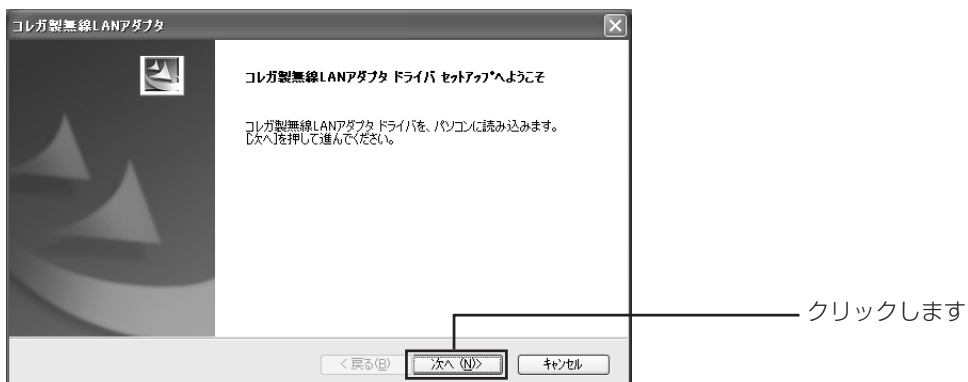
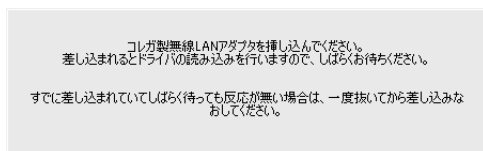
■Windows XP SP1 の場合

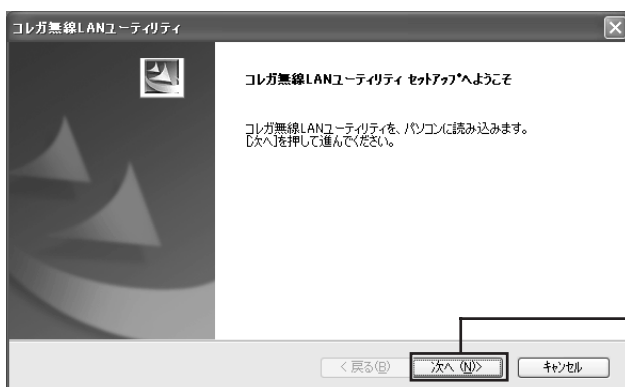
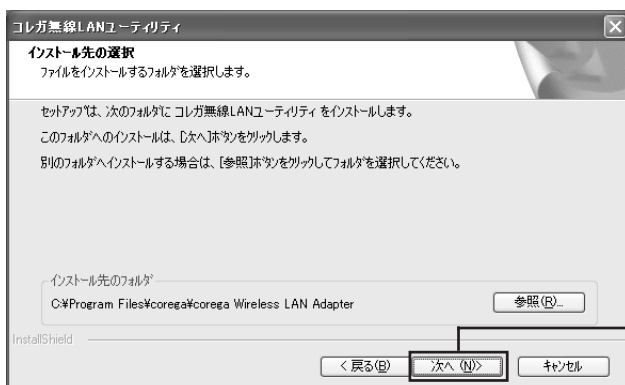
① 次の画面が表示されます。[開く] をクリックします。

② 手順５（本ページ）に進みます。

■Windows 2000 の場合

① 「このプログラムを上記の場所から実行する」を選択して、[OK] をクリックします。

② [はい] をクリックします。

メモ ①②の画面はお使いの環境によって表示されない場合もあります。

③ 手順５（本ページ）に進みます。

5 次の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。

6　次の画面が表示されたら、無線 LAN アダプタをパソコンに取り付けます。

7　ドライバのインストールがはじまります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら、［完了］をクリックします。

8　引き続き無線 LAN ユーティリティのインストールがはじまります。［次へ］をクリックします。

9　［次へ］をクリックします。

10 次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［完了］をクリックします。

11 パソコンを再起動します。

以上でインストールが完了しました。

無線アクセスポイントに接続する

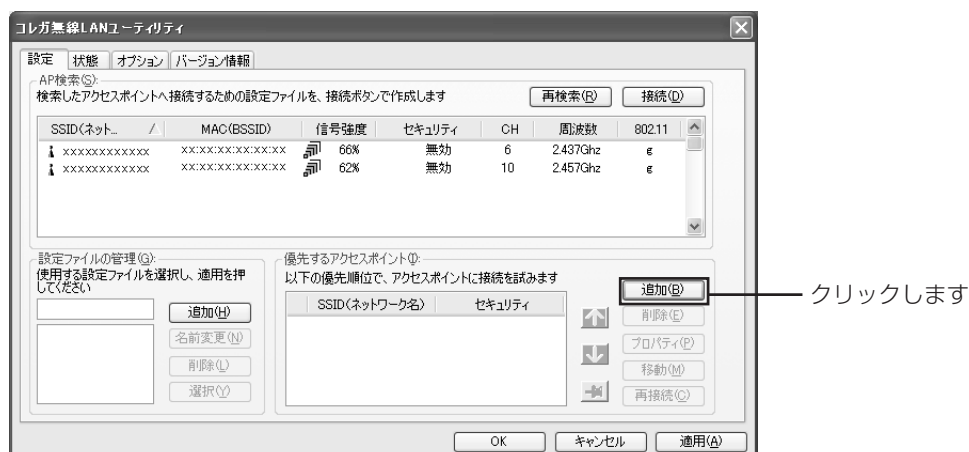
ルータへの接続には、次の３つの方法があります。

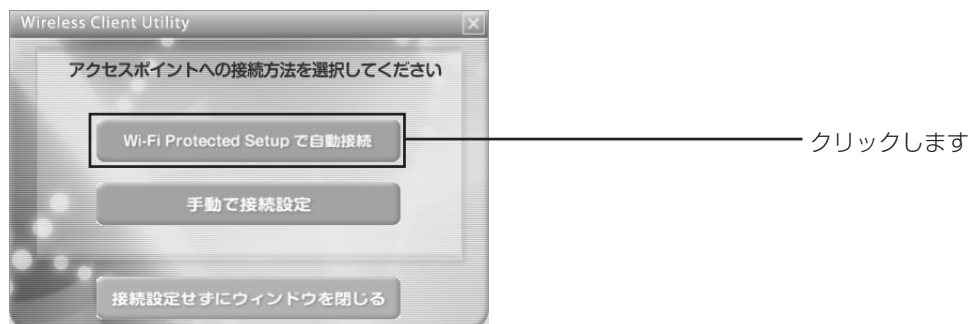
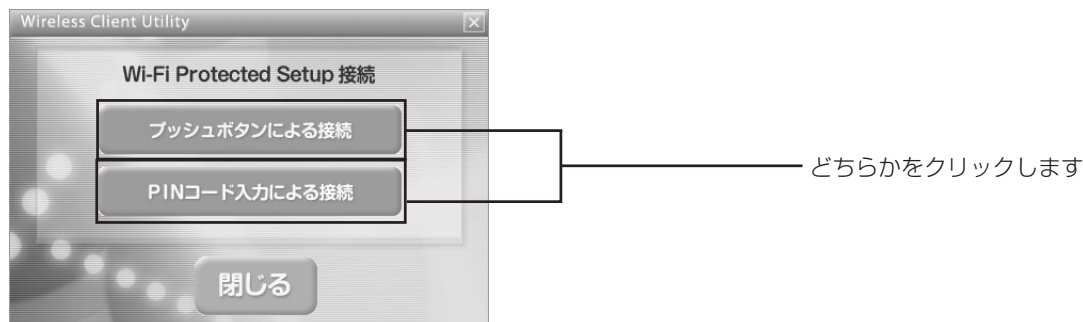
・WPS（Wi-Fi Protected Setup）で接続する
WPSに対応した無線ルータのWPSボタンを使って接続したり、PINコードを使用して接続する方法です。接続手順は「WPSで接続する」（本ページ）をご覧ください。

・無線アクセスポイントを検索して接続する
本ソフトウェアで接続可能な無線機器を検索して接続します。接続方法は「無線アクセスポイントを検索して接続する」（P.15）をご覧ください。

・手動で設定する
SSIDやネットワークキーなど接続に必要な情報をすべて手動で入力して接続します。接続方法は「手動で接続する」（P.18）をご覧ください。

●WPSで接続する

1　画面右下の をダブルクリックし、本ソフトウェアの画面を表示します。

2　［追加］をクリックします。

3　［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックします。

4　接続方法を選択します。

・［プッシュボタンによる接続］を選択した場合 →「無線ルータのボタンで接続する」(本ページ)へお進みください。
・［PINコード入力による接続］を選択した場合 →「PINコードで接続する」(P.13)へお進みください。

■無線ルータのボタンで接続する

①　無線ルータの電源を入れます。

無線ルータの起動時間はお使いの機種によって異なります(起動時間は取扱説明書をご欄ください)。無線ルータが起動するまでしばらくお待ちください。

②　無線ルータの WPS ボタンを 2 秒以上押し、WPS LED が緑色に点灯したことを確認します。

WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

（凡例）■：点灯　⎵：消灯

③ ［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

注意 **信号を受信しやすいように無線ルータに近づけてから［Wi-Fi PROTEDTED SETUP］をクリックしてください。**

④ アクセスポイントの検索がはじまります。

注意 **検索は 2 分間行いますが、お使いの環境によって時間がかかる場合があります。**

⑤ 引き続き設定の読み込みがはじまります。

⑥ 「設定完了」と表示されたら［閉じる］をクリックします。

「設定に失敗しました」と表示された場合は、［戻る］をクリックしてはじめからやり直してください。

注意 **何度試しても設定できない場合は、「無線アクセスポイントに接続する」(P.10) をご覧になり、別の手順で接続してください。**

⑦ 「優先するアクセスポイント」のアイコンがになっていることを確認します。

⑧ 画面右上のをクリックして、本ソフトウェアの画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

もう一度本ソフトウェアを表示させる場合は、パソコンの画面右下の をクリックします。

■PINコードで接続する

① ルータの電源を入れます。

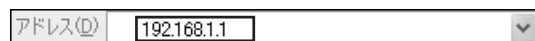
無線ルータの起動時間はお使いの機種によって異なります(起動時間は取扱説明書をご欄ください)。無線ルータが起動するまでしばらくお待ちください。

② ［次へ］をクリックします。

クリックします

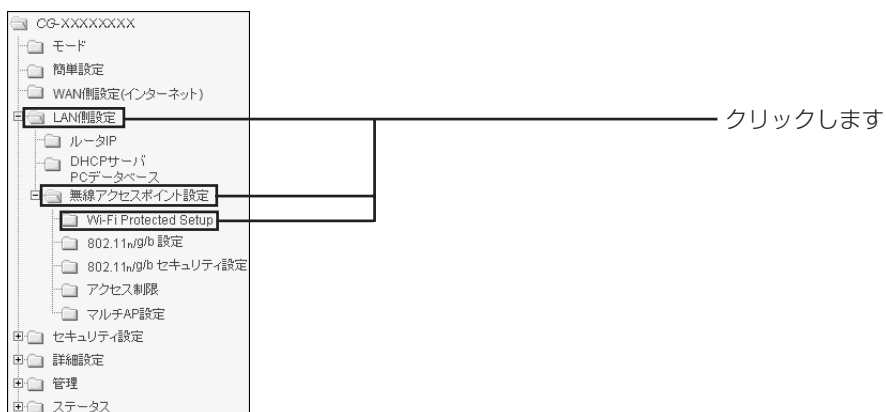
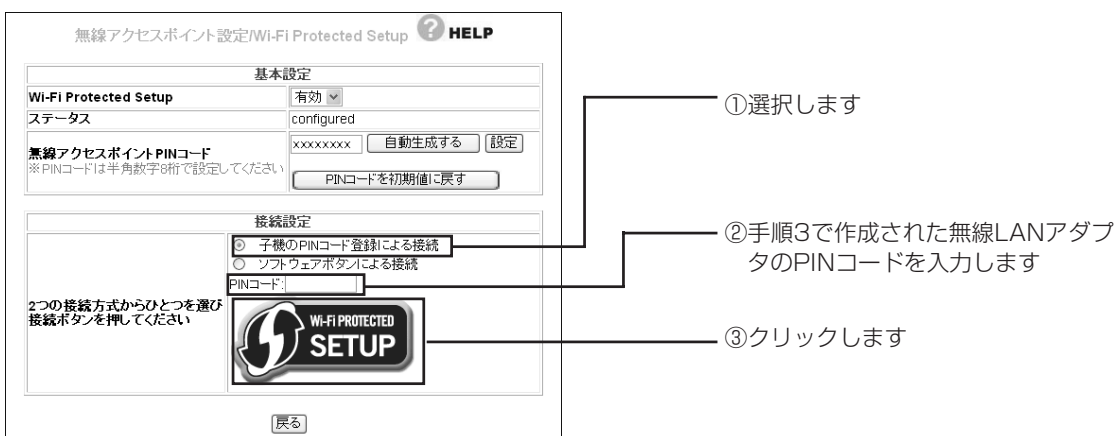
③ 自動的に無線LANアダプタのPINコードが作成されます。

無線LANアダプタのPINコードが表示されます

④ 無線ルータにLANケーブルで接続したパソコンからInternet Explorerを起動し、アドレス欄に「192.168.1.1」を入力してEnterキーを押します。

「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押します

お使いの環境によっては、Internet Explorerを起動すると手順5の画面が表示される場合があります。その場合はアドレス欄に何も入力しないで、手順⑤にお進みください。

⑤ ユーザ名に「root」、パスワードに何も入力しないで［ログイン］をクリックします。

⑥　画面左側のメニューから「LAN側設定」−「無線アクセスポイント設定」−「Wi-Fi Protected Setup」の順にクリックします。

⑦　「子機のPINコード登録による接続」を選択し、手順③で作成された無線LANアダプタのPINコードを入力して「Wi-Fi PROTECTED SETUP」をクリックします。

⑧　本ソフトウェアの画面の［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

- 「Wi-Fi Protected Setup」の信号は、［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックしてから2分間発信されます。2分間の間にもう一方の［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックしてください。
- 信号を受信しやすいようにルータに近づけてから［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックしてください。

⑨　「暗号化設定中」と表示され、通信が開始されます。そのままお待ちください。

⑩　「設定完了」と表示されますので［閉じる］をクリックします。

「設定に失敗しました」と表示された場合は、［戻る］をクリックしてはじめからやり直してください。

注意　**何度試しても設定できない場合は、「無線アクセスポイントに接続する」（P.10）をご覧になり、別の手順で接続してください。**

⑪　「優先するアクセスポイント」のアイコンがになっていることを確認します。

⑫　画面右上のをクリックして、本ソフトウェアの画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

もう一度本ソフトウェアを表示させる場合は、パソコンの画面右下のをクリックします。

●無線アクセスポイントを検索して接続する

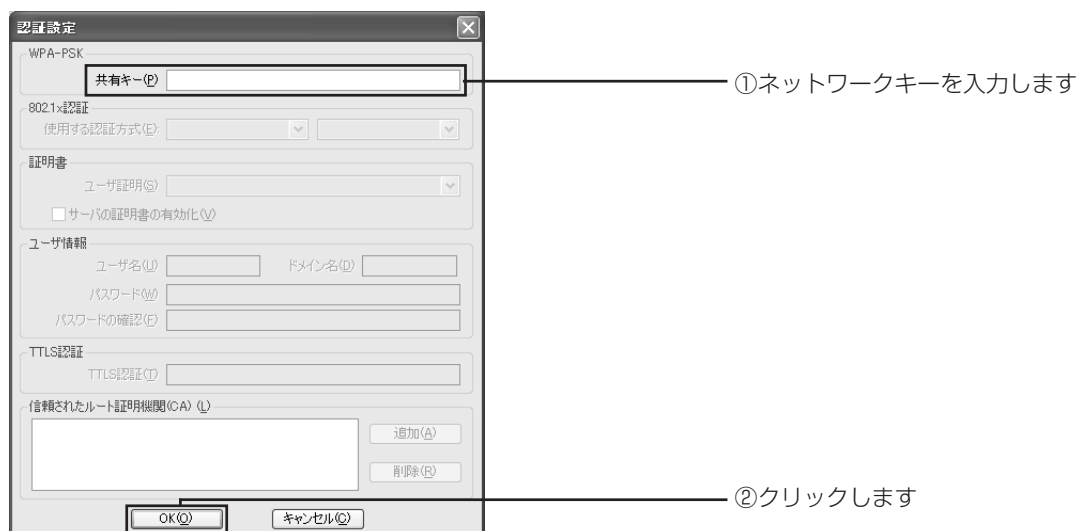
1　画面右下のをダブルクリックし、本ソフトウェアの画面を表示します。

2　「優先するアクセスポイント」に何も表示されていないことを確認し、「AP 検索」の一覧から接続したい無線ネットワークの SSID（ESSID、ネットワーク名）をダブルクリックします。

3　無線ネットワークの設定によって表示される画面が異なります。

■ WPA-PSK、WPA2-PSK が設定されているネットワークキーの場合

①　［認証設定］をクリックします。

②　ネットワークキーを入力し、［OK］をクリックします。

③　手順４（P.18）に進みます。

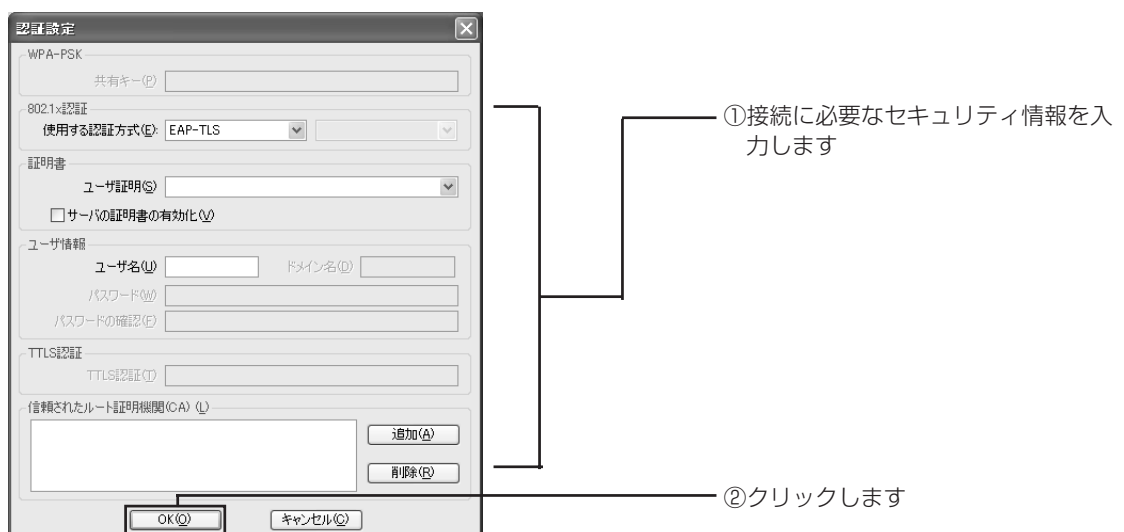
■ WEP が設定されているネットワークの場合

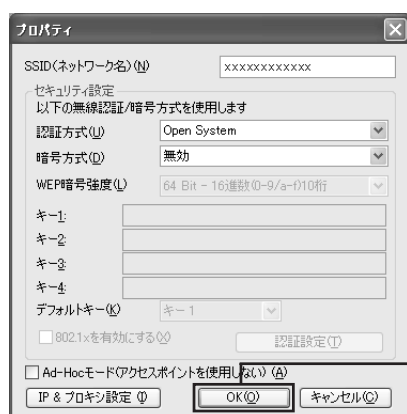
① キー 1 に WEP キー（暗号キー）を入力し、[OK] をクリックします。

② 手順４（P.18）に進みます。

■ WPA-EAP または WPA2-EAP が設定されているネットワークの場合

① [認証設定] をクリックします。

② セキュリティの情報を入力し、[OK] をクリックします。

③ 手順４（次ページ）に進みます。

■無線セキュリティが設定されていないネットワークの場合

① ［OK］をクリックします。

② 手順４（本ページ）に進みます。

4 ［適用］をクリックします。

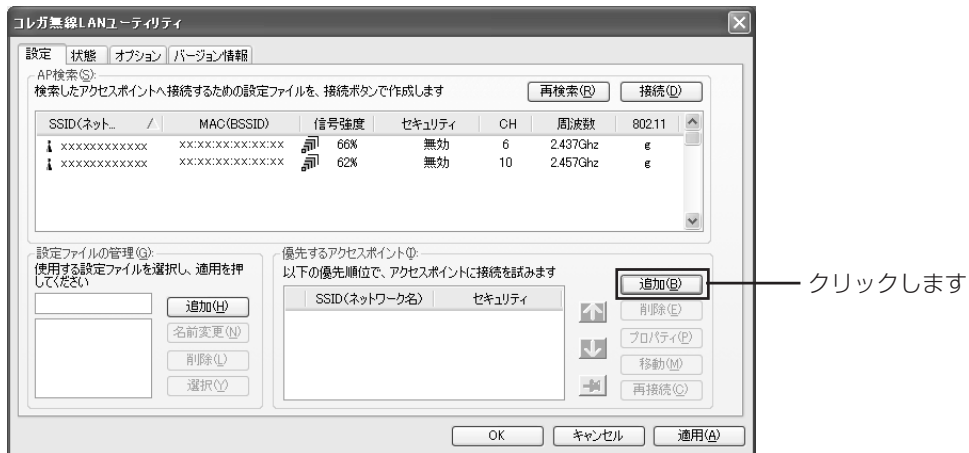
5 「優先するアクセスポイント」のアイコンが になっていることを確認します。

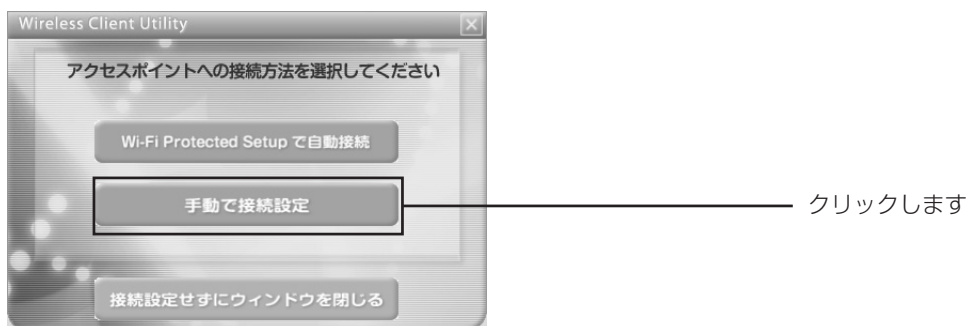
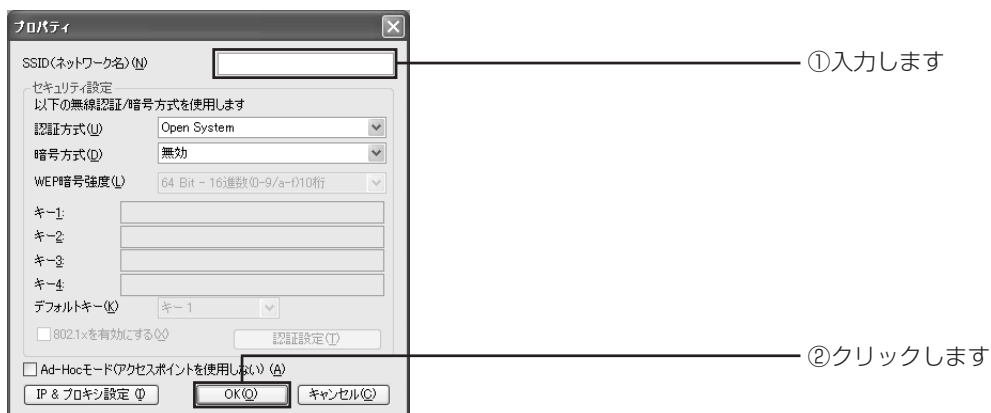
6 画面右上の をクリックして、本ソフトウェアの画面を閉じます。

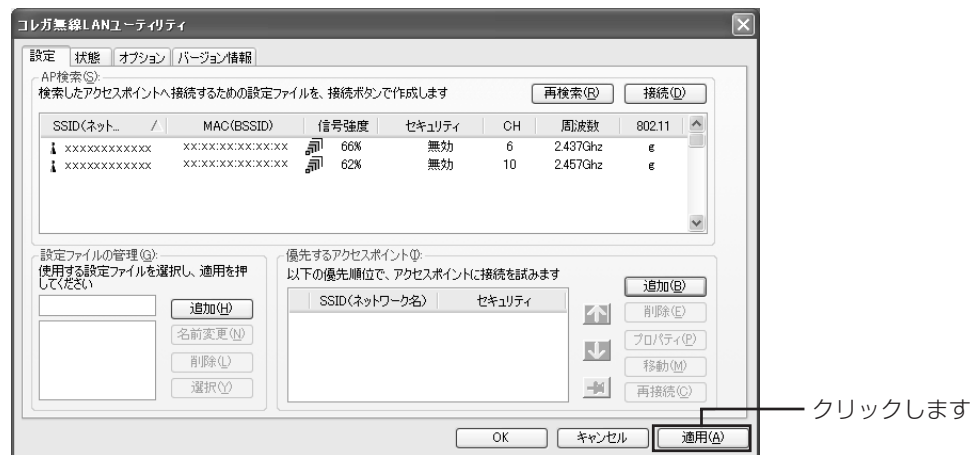
以上で設定は完了です。

メモ **もう一度本ソフトウェアを表示させる場合は、パソコンの画面右下の をダブルクリックします。**

●手動で接続する

1 画面右下の をダブルクリックし、本ソフトウェアの画面を表示します。

2　［追加］をクリックします。

3　［手動で接続設定］をクリックします。

4　「SSID（ネットワーク名）」に設定したいネットワーク名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ　無線セキュリティを設定する場合は、「無線セキュリティの設定をするときは」（P.23）をご覧ください。

5　［適用］をクリックします。

6　「優先するアクセスポイント」に手順４で入力したSSIDが表示され、アイコンがになっていることを確認します。

7　画面右上のをクリックして、本ソフトウェアの画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

もう一度本ソフトウェアを表示させる場合は、パソコンの画面右下のをクリックします。

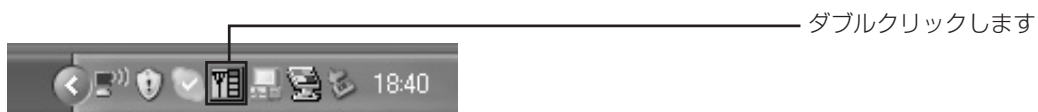
PART 2

無線LANユーティリティを使いこなす

本ソフトウェアを起動する

インストール完了後、本ソフトウェアを起動する場合は次の手順を行ってください。

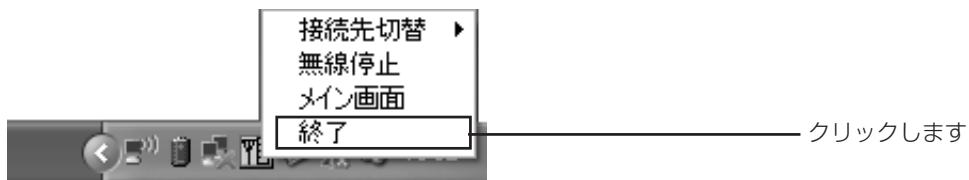
1　パソコンの画面右下の をダブルクリックします。

ダブルクリックします

パソコンの画面右下に が表示されていない場合は「スタート」ー「すべてのプログラム」（Windows 2000では「プログラム」）ー「コレガ無線LANユーティリティ」ー「コレガ無線LANユーティリティ GNLシリーズ」の順にクリックしてください。

2　本ソフトウェアが起動します。

無線 LAN アダプタをパソコンから取り外す

無線 LAN アダプタをお使いのパソコンから取り外す場合は、次の手順を行ってください。

1　パソコンの画面右下の を右クリックし、「終了」をクリックします。

画面右上の をクリックした状態では、本ソフトウェアは終了していません。

2　パソコンの画面右下の をクリックし、「CG-XXXXXXXX を安全に取り外します」（お使いの OS により、中止や停止という意味の内容になります）をクリックします。

3　無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

以上で取り外しの手順は終了です。

本ソフトウェアを削除する

本ソフトウェアを削除（アンインストール）する場合は、次の手順を行ってください。

1　「無線 LAN アダプタをパソコンから取り外す」（本ページ）をご覧になり、無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

2　「スタート」－「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）－「コレガ無線 LAN ユーティリティ」－「コレガ無線 LAN モニタの削除」の順にクリックします。

3　「プログラムを変更、修正、または削除します。」と表示されるので「削除」を選択し、[次へ] をクリックします。

4　「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？」と表示されるので [はい] をクリックします。

5　本ソフトウェアの削除がはじまります。しばらくすると「アンインストール完了」を表示されるので、[完了] をクリックします。

以上で本ソフトウェアの削除が完了しました。

無線セキュリティの設定をするときは

●本ソフトウェアで設定できるセキュリティ機能

本ソフトウェアに搭載されている無線セキュリティ機能は次のとおりです。

無線セキュリティは、お使いになる無線機器に共通したセキュリティを設定する必要があります。設定の前にお使いの無線機器がどんなセキュリティ機能を搭載しているか確認してください。

■SSID（Service Set IDentifier）

無線LANに接続する機器を識別する名前です。ESSIDと呼ばれることもあります。同じSSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、独自のSSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。設定方法については、「SSIDを設定する」（次ページ）をご覧ください。

■WEP（Wired Equivalent Privacy）

通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能です。仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。64Bit、128Bitの2種類から任意で暗号キーを作成します。設定方法については、「WEPを設定する」（P.25）をご覧ください。

■WPA（Wi-Fi Protected Access）

通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化するセキュリティ機能の一つです。暗号キーは一定時間ごとに変わるTKIPを採用しており、WEPよりも解読されにくくなります。家庭でご利用できる「WPA-PSK（パーソナル）」と企業内でご利用できる「WPA-EAP（エンタープライズ）」の2種類の設定ができます。設定方法については、「WPA-PSK、WPA2-PSKを設定する」(P.26) または「WPA-EAP、WPA2-EAP、802.1X認証を設定する」（P.27）をご覧ください。

■WPA2（Wi-Fi Protected Access 2）

WPA2は、Wi-Fi アライアンスが2004年9月に発表したWPAの新しい規格です。米標準技術局 (NICT) が定めた暗号化標準の「AES」を採用しており、128～256Bitの可変調キーを利用して強力な暗号化が可能です。その他の仕様についてはWPAとほとんど変わらないので、WPAとWPA2の混在した環境で利用できます。設定方法については、「WPA-PSK、WPA2-PSKを設定する」(P.26) または「WPA-EAP、WPA2-EAP、802.1X認証を設定する」（P.27）をご覧ください。

■ 802.1X認証

無線ネットワークを確立する際に、認証サービスを受けるセキュリティ設定です。正しい認証キーでアクセスすると認証サーバ（RADIUSサーバ）が正規のユーザであることを承認し、通信が可能になります。企業内のネットワークで利用されます。設定方法については、「WPA-EAP、WPA2-EAP、802.1X認証を設定する」（P.27）をご覧ください。

■WPS（Wi-Fi Protected Setup）

Wi-Fi アライアンスが2007年1月より認定を開始した規格です。プッシュボタンを押す、またはPIN（Personal Identification Number）コードを入力する方法で接続を行い、無線LANアダプタをアクセスポイントに登録してSSIDとWPA2のセキュリティの設定を完了させます。接続方法は、「WPSで接続する」（P.10）をご覧ください。

●SSIDを設定する

画面右下の![]をダブルクリックし、本ソフトウェアを起動します。起動すると、通信可能なSSID（ネットワーク名）が自動的に表示されます。

> 注意　アクセスポイントにSSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合はSSIDが空欄で表示されます。

1　「優先するアクセスポイント」に表示されている、設定したいSSID（ネットワーク名）をダブルクリックします。

2　「プロパティ」画面が表示されますので、新しく設定するSSIDを入力し、［OK］をクリックします。

3　手順1の画面に戻りますので、［適用］をクリックして設定を反映します。

●WEPを設定する

画面右下の をダブルクリックし、本ソフトウェアを起動します。起動すると、通信可能なSSID（ネットワーク名）が自動的に表示されます。

アクセスポイントにSSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合はSSIDが空欄で表示されます。

1　設定したいSSID（ネットワーク名）をダブルクリックします。

2　「プロパティ」画面が表示されますので、次のように設定します。

①　「Open System」または「Shared Key」を選択します。

②　①で「Open System」を選択した場合は「WEP」を選択します。

「Shared Key」を選択した場合は、自動的に「WEP」となります。

③　次のいずれかを選択します。
・64Bit － 16進数（0～9/a～f）10桁
・128Bit － 16進数（0～9/a～f）26桁
・64Bit － ASCII（半角英数記号）5文字
・128Bit － ASCII（半角英数記号）13文字

本設定は、接続する無線機器にも同様に設定してください。

④　③で選択した文字数を直接入力します。入力すると「*」の表示に変わります。

⑤　使いたい暗号キーを「キー1」～「キー4」の中から選択します。

メモ **上記の③で「128Bit」を選択した場合、④で入力できるキーは「キー1」のみとなります。**

3　「プロパティ」画面の［OK］をクリックします。

4　手順1の画面に戻りますので、［適用］をクリックして設定を反映します。

●WPA-PSK、WPA2-PSKを設定する

画面右下のをダブルクリックし、本ソフトウェアを起動します。起動すると、通信可能なSSID（ネットワーク名）が自動的に表示されます。

注意　アクセスポイントにSSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合はSSIDが空欄で表示されます。

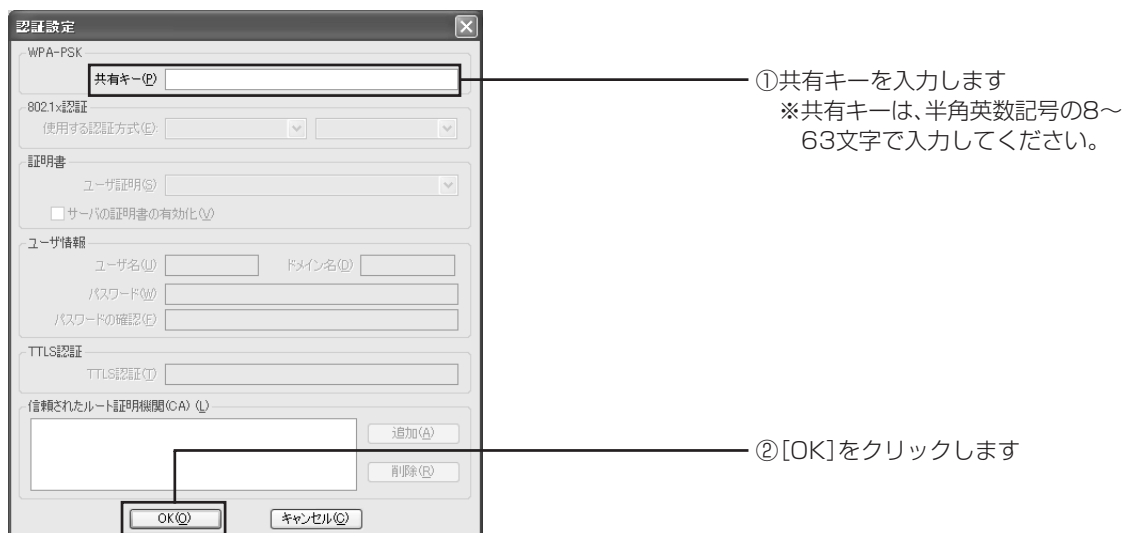
1　設定したいSSID（ネットワーク名）をダブルクリックします。

2　「プロパティ」画面が表示されますので、次のように設定します。

①「WPA2-PSK（パーソナル）」または「WPA-PSK（パーソナル）」を選択します。

②「TKIP」または「AES」を選択します。

③［認証設定］をクリックします。

3　次の画面が表示されますので、任意の共有キーを入力して［OK］を押します。

4　「プロパティ」画面の［OK］をクリックします。

5　手順1の画面に戻りますので、［適用］をクリックして設定を反映します。

●WPA-EAP、WPA2-EAP、802.1X認証を設定する

画面右下のをダブルクリックし、本ソフトウェアを起動します。起動すると、通信可能なSSID（ネットワーク名）が自動的に表示されます。

注意　アクセスポイントにSSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合はSSIDが空欄で表示されます。

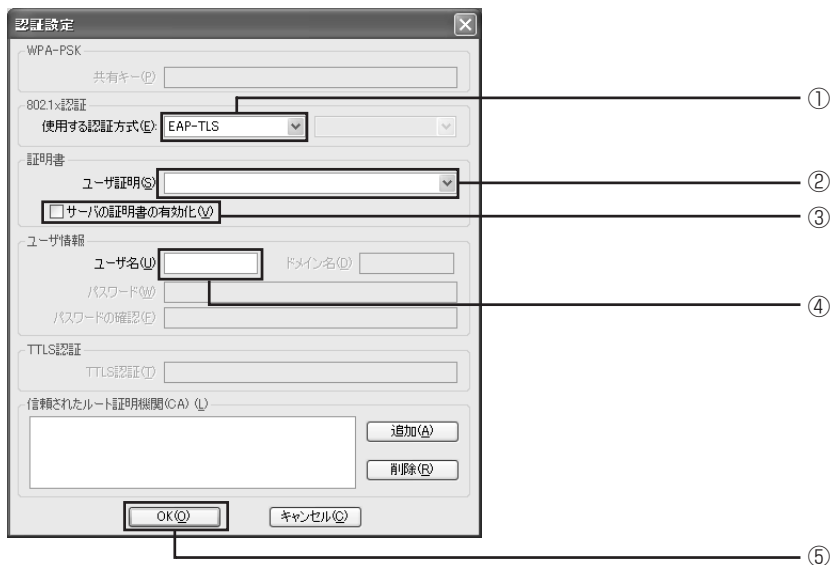
1　設定したいネットワーク名（SSID）をダブルクリックします。

2　「プロパティ」画面が表示されますので、次のように設定します。

①「WPA2-EAP（エンタープライズ）」または「WPA-EAP（エンタープライズ）」を選択します。

②「TKIP」または「AES」を選択します。

③［認証設定］をクリックします。

3　セキュリティに必要な情報を入力し、［OK］をクリックします。

①「認証方式」を選択します。

②「ユーザ証明」で使用する証明書を選択します。

③ 「サーバの証明書の有効化」にチェックを付けます。

④ 「ユーザ名」を入力します。

⑤ ［OK］をクリックします。

4 「プロパティ」画面の［OK］をクリックします。

5 手順 1 の画面に戻りますので、［適用］をクリックして設定を反映します。

- ユーザ証明は、あらかじめダウンロードするなどして入手しておく必要があります。
- 弊社では Windows 2000 Server インターネット認証サービス（IAS）で動作を確認しております。

●無線セキュリティの暗号方式について

次の表は、WEP および WPA（WPA2）での暗号方式の一覧です。

■ WEP…Infrastructure ／ Ad-Hoc 共通

認証方式	暗号方式	WEP 暗号強度
Open System	無効	ー
	WEP	64Bit ー 16 進数（0 ～ 9/a ～ f）10 桁
		128Bit ー 16 進数（0 ～ 9/a ～ f）26 桁
		64Bit ー ASCII（半角英数記号）5 文字
		128Bit ー ASCII（半角英数記号）13 文字
Shared Key	WEP	64Bit ー 16 進数（0 ～ 9/a ～ f）10 桁
		128Bit ー 16 進数（0 ～ 9/a ～ f）26 桁
		64Bit ー ASCII（半角英数記号）5 文字
		128Bit ー ASCII（半角英数記号）13 文字

※ Open System…アクセスポイントに認証キーを通信させせないで接続します。
※ Shared Key……アクセスポイントに認証キーを通信させせて接続します。

■ WPA2 ／ WPA…Infrastructure のみ

認証方式	暗号方式	認証設定
WPA ー EAP（エンタープライズ）	TKIP	EAP-TLS
		LEAP
		EAP-TTLS
		PEAP
	AES	EAP-TLS
		LEAP
		EAP-TTLS
		PEAP
WPA ー PSK（パーソナル）	TKIP	共有キー
	AES	共有キー
WPA2 ー EAP（エンタープライズ）	TKIP	EAP-TLS
		LEAP
		EAP-TTLS
		PEAP
	AES	EAP-TLS
		LEAP
		EAP-TTLS
		PEAP
WPA2 ー PSK（パーソナル）	TKIP	共有キー
	AES	共有キー

「Ad-Hoc モード」を使うときは

●「Ad-Hocモード」を利用したネットワークに接続する

1　画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。

2　ユーティリティが起動すると、通信可能な SSID（ネットワーク名）が自動的に表示されます。

3　「AP 検索」の欄に表示されたアドホックモードのSSID（ネットワーク名）をダブルクリックします。

「優先するアクセスポイント」に別の **SSID**（ネットワーク）が表示されている場合は、［削除］をクリックしてください。

4　接続したいネットワークのSSID（ネットワーク名）が表示されていること、「Ad-Hoc モード（アクセスポイントを使用しない）」にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

5 「優先するアクセスポイント」に表示されたSSID（ネットワーク名）を選択し、[ピンのアイコン]をクリックして接続するアクセスポイントを固定します。

6 画面右下の［適用］をクリックして設定を反映します。

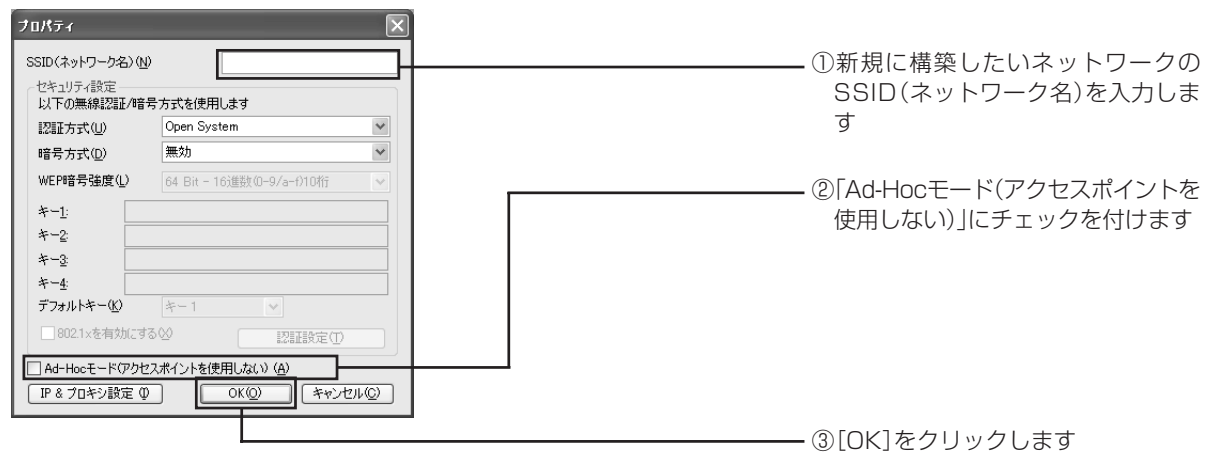
以上で「Ad-Hoc モード」を利用したネットワークへの接続は終了です。

●新規で「Ad-Hocモード」のネットワークを構築する

1 画面右下の[アイコン]をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。

2 ［追加］をクリックします。

メモ 「優先するアクセスポイント」に別のSSID（ネットワーク）が表示されている場合は、［削除］をクリックしてください。

3　構築する「Ad-Hoc モード」のSSID（ネットワーク名）を入力し、「Ad-Hoc モード（アクセスポイントを使用しない)」にチェックを付けて［OK］をクリックします。

4　画面右下の［適用］をクリックして設定を反映します。

無線セキュリティの設定をする場合は、「無線セキュリティの設定をするときは」(P.23) をご覧ください。

PART 3 ユーティリティの画面について

本ソフトウェアを起動するには、画面右下の をダブルクリックします。

「設定」画面

「設定」タブを選択します。

項目名	説明
① AP 検索	利用可能な無線ネットワークのリストが表示されます。
②再検索	クリックすると、利用可能な無線ネットワークの検索を開始します。
③接続	①に表示された無線ネットワークを選択し、クリックするとネットワークに接続します。セキュリティが設定されている場合は、同じ設定をする必要があります。
④設定ファイルの管理	無線接続に関する設定をファイルに保存することができます。保存できるファイルの数はお使いのパソコンによって変わります。
⑤優先するアクセスポイント	①に表示された無線ネットワークを選択すると表示され、優先的に接続できるようにします。最大で100件の表示をすることができます。
⑥優先順位の移動	⑤に表示されている「優先するアクセスポイント」を選択し、 や をクリックすると選択している無線ネットワークの優先順位を変更することができます。 をクリックすると優先順位が上がります。 をクリックすると優先順位が下がります。 ※「Ad-Hocモード」の無線ネットワークは、「Infrastructureモード」の無線ネットワークより上位に移動させることはできません。
⑦追加	無線ネットワークを新たに設定することができます。

項目名	説明
⑧削除	「優先するアクセスポイント」で表示された無線ネットワークを削除することができます。
⑨プロパティ	「優先するアクセスポイント」で選択した無線ネットワークのセキュリティを設定することができます。
⑩移動	選択した「優先するアクセスポイント」を「設定ファイル」に移動します。
⑪再接続	⑤に表示された無線ネットワークを選択し、クリックすると再度無線ネットワークに接続します。
⑫固定	⑤に表示された無線ネットワークを選択し、クリックすると優先順位に関係なく、選択した無線ネットワークに接続します。

●AP検索表示の各項目

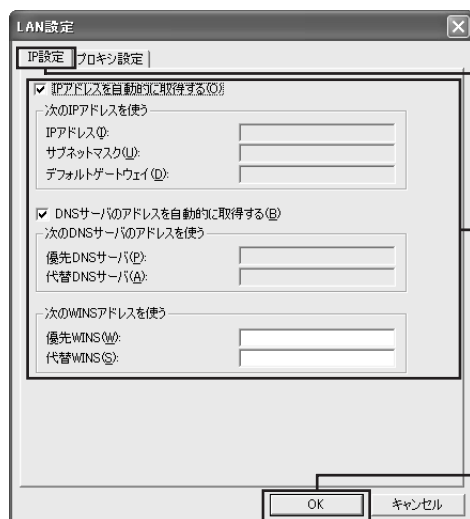
項目名	説明
① SSID（ネットワーク名）	接続状態と無線ネットワークの SSID を確認できます。 接続可能な無線ネットワークです。（Ad-Hoc モード） 現在接続している無線ネットワークです。（Ad-Hocモード） 接続可能な無線ネットワークです。（Infrastructureモード） 現在接続している無線ネットワークです。（Infrastructure モード） ※通信相手の機器にステルス機能が設定されている場合、SSID は表示されません。
② MAC（BSSID）	MAC アドレス（BSSID）を確認できます。
③信号強度	通信強度を０～ 100%の間で確認できます。
④セキュリティ	設定されているセキュリティ設定を確認できます。 セキュリティが設定されている無線ネットワークに付くマークです。 無効 -------------------------- セキュリティ設定が設定されていない無線ネットワークです。 WEP ------------------------ セキュリティ設定でWEPが設定されている無線ネットワークです。 WPA-PSK ---------------- セキュリティ設定で WPA-PSK（パーソナル）が設定されている無線ネットワークです。 WPA-EAP ---------------- セキュリティ設定で WPA-EAP（エンタープライズ）が設定されている無線ネットワークです。 WPA2-PSK-------------- セキュリティ設定でWPA2-PSK（パーソナル）が設定されている無線ネットワークです。 WPA2-EAP-------------- セキュリティ設定でWPA2-EAP（エンタープライズ）が設定されている無線ネットワークです。 WPA/WPA2-PSK ---- セキュリティ設定で ＷＰＡ/ＷＰＡ2-PSK（パーソナル）が設定されている無線ネットワークです。 WPA/WPA2-EAP ---- セキュリティ設定で ＷＰＡ/ＷＰＡ2-EAP（エンタープライズ）が設定されている無線ネットワークです。
⑤ CH	設定されているチャンネルを確認できます。
⑥周波数	無線ネットワークが使用している電波の周波数を確認できます。
⑦ 802.11	802.11 モード（通信規格）を確認できます。

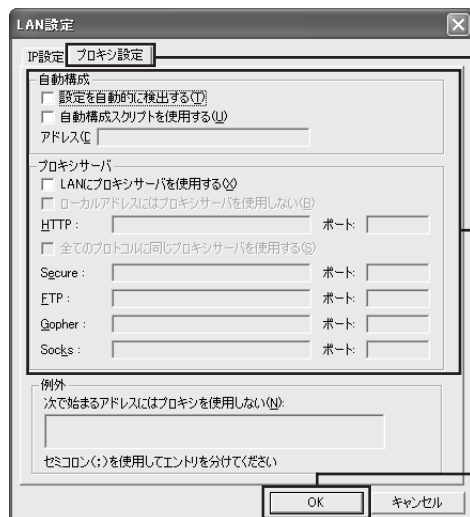
●「IP&プロキシ設定」画面

本ソフトウェアは「優先するアクセスポイント」に表示されたSSID（ネットワーク名）の設定に対して、「IPアドレス」および「プロキシ」の設定を行うことができます。設定するには、「設定」画面（P.33）の［プロパティ］をクリックして次の画面を表示させ、［IP ＆プロキシ設定］をクリックします。

［IP&プロキシ設定］をクリックします

■「IP 設定」画面

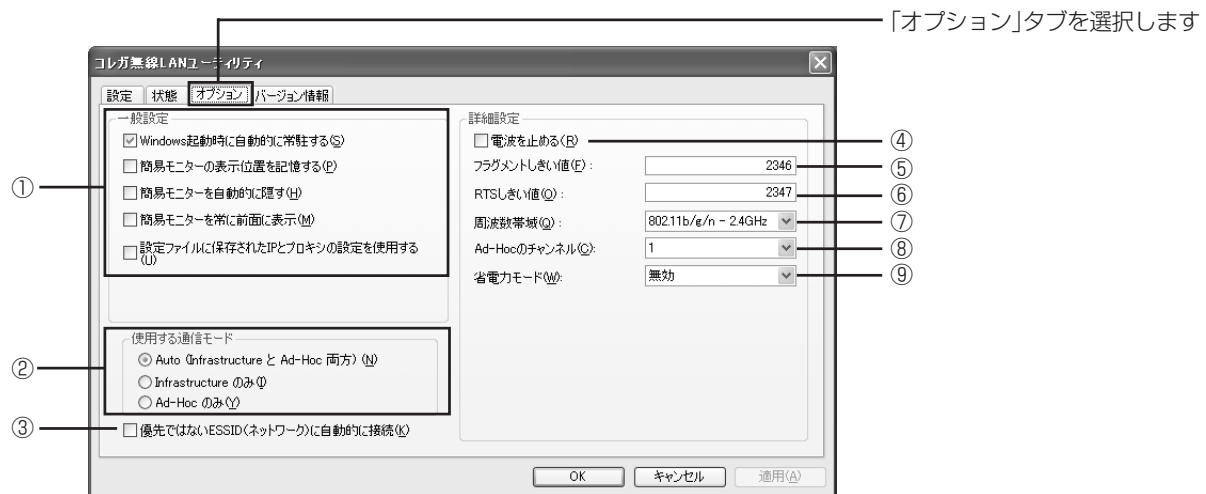
「IP 設定」タブを選択し、IP アドレスと DNS サーバを設定します。

■「プロキシ設定」画面

「プロキシ設定」タブを選択し、プロキシサーバの設定を入力します。

「状態」画面

「状態」タブを選択します。

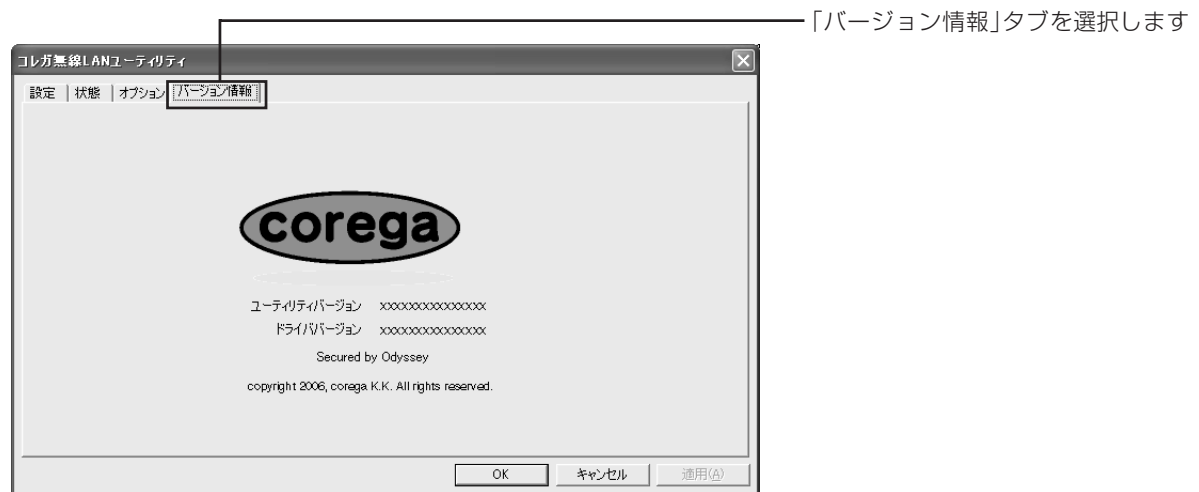
項目名	説明
①接続状態	無線 LAN アダプタの接続状態を表示します。
② SSID（ネットワーク名）	現在設定されている SSID を表示します。
③ BSSID	接続相手機器の MAC アドレスを表示します。
④接続モード	設定されている接続モードを表示します。
⑤ 802.11 モード	現在使用している通信規格を表示します。
⑥チャンネル	現在使用しているチャンネルを表示します。
⑦暗号化	現在設定されているセキュリティの設定を表示します。
⑧送信帯域	現在送信している送信帯域を表示します。
⑨認証状態	通信相手機器との接続状態を表示します。
⑩信号強度	通信相手機器との信号の強度を%で表示します。
⑪電波状態	無線 LAN アダプタが通信可能の状態であるかを表示します。
⑫ MAC アドレス	無線 LAN アダプタの MAC アドレスが表示されます。

「オプション」画面

「オプション」タブを選択します。

項目名	説明
①一般設定	チェックを付けると各機能が動作します。
②使用する通信モード	「設定」画面でネットワーク名（SSID）を検索するモードを決定することができます。
③優先ではないESSID（ネットワーク）に自動的に接続	チェックを付けると「設定」画面で検索されたSSID（ネットワーク名）を優先順位を付けることなく接続します。
④電波を止める	ネットワークの接続を中断したいときにチェックを付けます。
⑤フラグメントしきい値	IPフラグメントのしきい値を設定します。パケットがこの値を超えたとき、設定された値の大きさに分割されます。
⑥RTSしきい値	RTSのしきい値を設定します。この値を超えるパケットを送信しようとしたとき、RTS/CTS機能を有効にします。
⑦周波数帯域	無線LANアダプタのの通信規格を指定できます。ここで通信規格を指定した場合、「設定」の画面には指定した規格を使用しているネットワークのみが表示されます。 ※工場出荷時は「802.11b/g/n-2.4GHz」に設定されています。
⑧Ad-Hocのチャンネル	Ad-Hocでの通信時に使用するチャンネルを設定することができます。1～13チャンネルの中から選択してください。
⑨省電力モード	無線LANアダプタの消費電力を抑えるように設定できます。「無効」、「最大」、「速度優先」のいずれかから選択できます。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。

「バージョン情報」画面

本ソフトウェアのバージョンが表示されます。

「バージョン情報」タブを選択します

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2007年5月　初版